

## 平成 26 年度広島市民球場運営協議会 会議要旨

### 1 開催日時

平成 27 年 3 月 23 日 (月) 15 : 30 ~ 16 : 11

### 2 開催場所

広島市役所本庁舎 14 階 第 7 会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員 (13 名)

深山 英樹、永野 正雄、加藤 義明、山根 恒弘、山本 治朗、山本 一隆、  
石井 一清、徳田 洋子、川瀬 啓子、曾根 幹子、近藤 敏博、部谷 京子、  
松田 元

#### (2) 広島市

荒本副市長、西岡都市整備局長、  
早志都市機能調整部広島駅周辺地区整備担当部長、  
高野広島駅周辺地区整備担当課長

#### (3) 株式会社広島東洋カープ

桂管理本部長

### 4 議題

- (1) 広島市民球場の運営状況等について
- (2) 平成 26 年度施設利用実績について
- (3) 2014 年カープ球団の事業実績について
- (4) 命名権について
- (5) その他

### 5 公開・非公開の別

公開

### 6 傍聴者

一般傍聴者	1 名
報道関係者	4 社

### 7 会議資料

- (1) 次第
- (2) 配席表
- (3) 委員名簿
- (4) 平成 26 年度広島市民球場運営協議会資料及びその参考資料

### 8 会議要旨

委員定数 20 名のうち出席者 13 名であり、定数の過半数を超えているため、協議会が有効に成立していることを事務局が説明し、議題を説明。

<議事>

事務局： それでは定刻となりましたので、ただいまから平成 26 年度「広島市民球場運営協議会」を開催させていただきます。皆様方には、ご多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は、本日の進行役を務めさせていただきます、広島市都市整備局広島駅周辺地区整備担当部長をしております早志と申します。どうぞよろしく願いたします。

それでは、開催にあたりまして、荒本副市長からご挨拶申し上げます。

副市長： 副市長の荒本でございます。松井市長は公務のため急遽上京することになりまして、市長に代わりましてご挨拶申し上げます。

委員の皆様には平素からご理解とご協力を賜りまして、心から御礼を申し上げます。

昨年カープは開幕からのスタートダッシュでシーズン終盤まで激しい優勝争いを展開するなど、ファンを楽しませてくれました。また、カープ女子と呼ばれる女性ファンが増えたこともございまして、入場者数も過去最多を記録しました。これも松田オーナーをはじめカープ球団の皆様のご努力の賜物であり、敬意を表したいと思ひます。今年には新たに就任した緒形監督、8年ぶりに大リーグから復帰した黒田投手など、地元はもちろん全国のカープファンからもその活躍に大きな期待が寄せられています。優勝目指して熱い戦いを繰り広げていただきたいと思ひます。

早いもので今年には市民球場がオープンして7年目を迎えることとなります。球場内の施設においては、これまで、カープ球団においてにぎわい創出につながる様々な改善をしていただきました。いずれも好評であると、お伺いいたしております。本市といたしましては、球場への行き来を安全かつ快適に行えるようにするために、広島駅から球場に通じる歩行者専用デッキ通路、いわゆるペDESTリアンデッキの整備に向けまして、新年度から設計に着手したいというふうに思っております。

また、球場東側の商業施設、そしてオープンしたカープの屋内練習場、それから結婚式場を一体のものとしまして、スタジアムを核とした、いわゆるボールパークタウン、この完成に向けた取り組みが着実に進展いたしております。

さらに南口 B・C ブロック、二葉の里地区で建設工事が進みまして、あるいはまた、駅自由通路の整備、南口広場の再整備等にも取り組んでおりまして、市民の目にもボールパークタウンを含む将来のまちの姿が目に見えるようになってきたというふうに思っております。今後球場全体について、長期的に施設改善計画、これを改めて策定することになると思ひますけれども、その際にはより一層利用者に喜ばれる球場に、もっともっと進化していく必要があると思っております。

本日は委員の皆様には球場の運営状況や利用実績等について報告させていただき予定にいたしております。皆様の声を今後の施設改善に反映し、より魅力のある球場にしていきたいと考えておりますので、ご忌憚のないご意見を聞かせていただきますよう、よろしく願いたします。

最後に、本日お集りの皆様のご健康、ご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いたします。

事務局： 本協議会は、球場の運営に関する報告、審議などを行うことを目的として、委員 20 名で構成されております。時間の関係もございまして、委員の皆様のご紹介は、お手元の「委員名簿」に代えさせていただきます。なお、本日は、

高垣委員、山下委員、西川委員、青木委員、下中委員、並びに金井委員の6名の方は、所用によりご欠席となっております。また南区コミュニティ交流協議会の石井健一郎委員がちょっと遅れているというふう聞いております。本協議会は、委員の過半数の出席により成立することになっております。本日は20名中14名の委員にご出席でございますので、有効に成立していることをご報告させていただきます。

次に、事務局につきましては、荒本副市長以下、担当の職員がお手元の「配席表」のとおり出席しております。また、本日は、議題の関係から、株式会社広島東洋カープの桂管理本部長様に、事務局として出席いただいております。

それでは、まず、お手元にお配りしております資料の確認をお願いしたいと思います。本日の「次第」、続いて「配席表」、「委員名簿」それと別綴じの「平成26年度広島市民球場運営協議会資料」及び「参考資料」でございます。本日の会議は、お手元の「次第」に沿って進めてまいりたいと考えております。

さて、この度の運営協議会は、委員改選後、最初の開催となります。まず、「会長並びに副会長の選任」を行っていただきたいと思います。

お手元の参考資料の「広島市民球場運営協議会関係法令」をご覧ください。アンダーラインをひいております、施行規則第7条第5項では、「協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。」と規定しております。

どなたか立候補、又は、ご推薦をいただけないでしょうか。

委員： はい。広島商工会議所会頭の深山委員を会長にご推薦したいと思います。

事務局： ただいま、会長に深山委員を推薦したいという声がありましたが、皆様いかがでしょうか。

一同： 異議なし

事務局： それでは、深山委員に会長をお願いいたします。恐れ入ります、深山委員には移動をお願いいたします。はい。それでは、深山会長、一言ご挨拶をいただけますでしょうか。

会長： ただいま会長を仰せつかりました、深山でございます。先ほどの副市長から紹介がありましたように、市民球場がオープンして今年で7年目を迎えるということでございます。去年はこれまでの最高記録190万人以上の方が来場されたと聞いておりますが、これはカープ球団はもとより、球場そのものが多くのファンに愛されている結果でありまして、広島都市圏の魅力づくりに大いに貢献しているものと考えます。

私も昨日のソフトバンク戦を見に行きまして、満席状態で公式戦ながらの熱気でありました。試合はイライラした部分もありましたが、勝ちましたので喜んで帰った次第でございます。

さて、本協議会は市民球場の運営に関します重要な事項を審議することを目的に設置されたものであります。本日はその運営状況では施設の利用実績等について報告があると伺っておりますが、今後さらに魅力を高めていくために、皆様方の忌憚のないご意見を拝聴したいと思いますので、今日はよろしくお願いたします。ありがとうございました。

事務局： ありがとうございます。

それでは、ここからは、会長に議事の進行をお願いいたします。

会 長： それでは、次に副会長の選任に移りたいと思います。副会長も委員の互選により選任することになっておりますが、私から公益財団法人広島市スポーツ協会の山根委員を副会長にご推薦したいと思いますが、皆様いかがでございますでしょうか。

一 同： 異議なし

会 長： ありがとうございます。それでは、山根委員に副会長をお願いします。副会長席に移動をお願いします。

それでは、これより議題に入ります。まず、議題1「広島市民球場の運営状況等について」です。内容について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 広島駅周辺地区整備担当課長の高野と申します。よろしくをお願いします。

それでは、恐れ入りますけれども、座って説明させていただきます。お配りしておりますお手元の資料の1ページをお開きください。

「1. 広島市民球場の運営状況等について」です。市民球場では平成21年度から30年度までの10年間広島東洋カープ様に球場の指定管理者として施設の管理を行っていただいております。指定管理者の運営の仕組みですが、カープ球団やアマチュア野球のチーム等から収入する利用料金を財源として、維持管理経費に充てるとともに、最低2億1,100万円を市に納付してもらうという、利用料金制度を導入しております。

それでは、「(1)平成25年度指定管理経費等の収支状況」をご覧ください。収入支出ともに予算に比べ決算のほうが上回っております。収入につきましてはプロ野球の入場者数が100万人を超えた場合の加算金等が見込みを上回ったため、予算よりも決算が約4,200万円上回っております。一方、支出につきましては、下から二段目のその他、これは施設の維持管理経費等ですが、経費節減等に努められた結果、約900万円決算額が予算額を下回っております。その結果、下から三段目の市への納付金の決算額が予算額よりも約5,100万円上回る結果となりました。市ではこの納付金を球場建設にあたり発行した市債の償還財源に充てております。

続きまして、「(2)観戦環境の改善等」についてでございます。ここでは平成27年のシーズンに向けて新たに整備した主な施設をご紹介します。まずは、「ア 西側駐輪場の整備」です。従来球場西側に暫定駐輪場を設けておりましたが、この場所に後ほどご紹介します婚礼施設が整備されたことから、左下の配置図に示しておりますプロムナード下に新たな駐輪場を整備しております。右上の写真が現在の状況ですが、まだ工事を行っておりまして、来月末に完成の予定です。これは命名権料を活用して市が整備しております。

次に「イ ちょっとビックリテラスの新設」です。これまではバーベキューが楽しめるエリアとして、一塁側スタンドとライト側スタンドの間のびっくりテラスとボックススクリーン横のパーティーグリルがありましたが、新たにパーティーグリルのすぐ隣に大小二つのエリアを設けました。これはカープ球団様が整備されたもので、既に完成しております。以上で説明を終わります。

会長： それでは、ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見があればよろしく申し上げます。

それでは、引き続き、議題 2「平成 26 年度施設利用実績について」から、議題 5「その他」までを一括して、事務局から説明をお願いします。なお、議題 3「2014 年カープ球団の事業実績について」は、広島東洋カープの桂本部長からご説明をお願いいたします。

事務局： それでは続きまして 2 ページをお開きください。

「2 平成 26 年度施設利用実績について」です。

まず「(1) 施設利用日数」ですが、26 年度はプロ野球興業で 74 日、高校野球等のアマチュア野球で 80 日、その他イベント、無料のコンコース開放、雨天中止となった日数も含め、合わせて 275 日を利用しております。

次に「(2) 施設見学」です。コンコース開放、カープ球団でガイドをつけられて有料で案内しているスタジアムツアー、それと、幼稚園、小中学校の児童生徒等を対象とした無料の社会見学をそれぞれご覧の日数、人数で実施しており、合わせて 161 日、約 33,000 人の利用がありました。

続きまして、3 ページをご覧ください。

「(3) プロ野球興行時の来場者動向」です。球場がオープンした平成 21 年から毎年 9 月のデーゲームにアンケート調査をしております、それを経年でとりまとめたものをご説明いたします。

「ア 調査概要」です。平成 26 年は 9 月 20 日土曜日、横浜戦でした。ほぼ満員の 31,000 人強の入場者がありまして、2,300 枚のアンケートを配布しました。

「イ 調査結果」です。

「(7) 性別」です。カープ女子が社会現象となりましたように、ピンクで示した女性の割合が増加傾向にありまして、ここ 3 年は 4 割を超えています。

「(4) 年代」です。真中のオレンジと濃いピンクで示しております 30 歳代と 40 歳代が最も多い年齢層になっております。合わせて概ね 5 割前後となっております。50 歳代以上の割合が増加傾向にありますが、幅広い年齢層の方が利用されている状況になっております。

続きまして、4 ページをお開きください。

「(ウ) 来場者住所」です。年によって調査日の対戦相手等の影響もあるようですが、広島県外、県内、広島市内、それぞれ概ね 3 分の 1 ずつとなっております。

「(1) 来場回数」です。約 7 割が 2 回以上のリピーターで、去年は 8 割近くにまで増えています。6 回以上のリピーターが約 3 割と非常に高い割合になっております。

5 ページをご覧ください。

「(オ) 野球観戦後の交通手段」です。26 年は濃いピンクで示した自家用車の利用割合が減り、公共交通機関が増えています。これは去年、球場西側地区で開発の工事が始まり、暫定駐車場を廃止したことによるものと考えられます。

次に「(カ) 観戦人数」です。約 7 割が 2 人から 4 人のグループで 5 人以上のグループの割合は約 2 割となっております。グループ席が依然人気が高いと聞いており、こうした結果につながったようです。

次に 6 ページをお開きください。

「(キ) マツダスタジアムの評価」です。球場の楽しさ・雰囲気、清潔感等、様々な項目で評価していますが、全ての項目でピンク系の色で示しております。「満足」、「やや満足」の割合がブルー系の色で示した「やや不満足」、「不満足」の割合を大きく上回っております。高い評価を得ております。グラフの一番下の「総合的な満足度」については、「満足」、「やや満足」を合わせますと、85%程度となり、非常に満足度の高い球場になっているという結果を示しております。

7ページをご覧ください。

「ウ その他」として、アンケート調査の自由意見欄にいただいた主な意見を紹介しており、概ね好印象の意見となっております。ここにつきましては、説明を省略させていただきたいと思っております。

以上でございます。

事務局： カーブ球団の桂でございます。

「3 2014年カーブ球団の利用実績について」ご説明させていただきたいと思っております。

8ページをご覧ください。

「(1) プロ野球入場者数」につきましては、市民球場の6年目のシーズンでございますが、皆様のご支援いただき、本拠地球場、その他の合計につきましては、190万4,781人になります。前年比33万9,183人の増加となっております。

「(2) 経営状況」につきましては、株主総会での承認をいただく前の数字ではございますが、売上高は128億7,420万4,000円となります。前期比22億1,129万6,000円の増加となっております。また当期純利益は、5億7,419万4,000円となっております。

「(3) 地域貢献活動」につきましては、活動の合計件数が267件と、今後とも積極的に行って参りたいと考えております。

簡単ではございますが、説明を終わらせていただきます。

事務局： 引き続きまして「4 命名権について」ご説明いたします。

命名権制度は、いつまでもこの素晴らしい球場の環境を維持できるように、計画的に大規模改修や施設改善等を行うための財源を確保するために導入したものです。

「(1) 契約概要」ですが、平成21年度からの5年間に引き続き、平成26年度からの5年間もマツダ株式会社様に命名権取得者となっていただいております。命名権料として毎年、2億2,000万円を納めていただいております。

9ページをご覧ください。

「(2) 社会貢献活動」です。命名権取得者であるマツダ株式会社は、球場を核として地域に貢献するパートナーとして、下記の社会貢献活動に取り組んでおられます。

「(ア) 広島県営林 J-VER の購入」です。球場のナイター照明で消費する電力の発電時に発生する温室効果ガスの相当量を県営林で吸収してもらうために、その間伐あるいは整備費相当を負担されています。

次に「(イ) 福祉車両の贈呈」です。これは球場の来場者が累計で100万人を達成するごとに福祉車両を贈呈されているもので、26年度は2回この節目がありました。5月には累計800万人を達成し、おりづる作業所へ、9月には累計900万人を達成し、セルフ宇品へ、それぞれ福祉車両を贈呈されました。

次に「(ウ) 球場周辺の清掃美化活動」で、プロ野球シーズン中にマツダ株式会社様の社員とその家族による球場周辺の清掃を実施されています。

次に「(エ) ヘリテージコーナーの設置」で、広島市・カープ球団・マツダ株式会社それぞれの「挑戦」をテーマにしたディスプレイを、球場3階コンコースに設置されています。

最後に「(オ) 球場の情報発信」で、マツダ株式会社のホームページ等各種媒体を通じて球場の情報を発信されております。

続きまして10ページをお開きください。

「5 その他」として、球場周辺の開発の状況をご説明します。プロ野球が開催されない日も球場周辺ににぎわいを創出するため、民間のノウハウ等を活用して、集客施設等を整備しています。球場の東側の地区については、ルネサンス、コストコと分譲住宅が26年2月までに完成しています。球場の西側の地区については、先月カープ屋内練習場が完成、今月初めには婚礼施設がオープンし、分譲住宅が来年8月の完成を目指して建設中です。

右側の11ページをご覧ください。

上の写真紺色の建物がカープの屋内練習場です。球場から広島駅方面に見たものです。球場に上がっていく、プロムナードに隣接した手前の四角いデッキの部分、ここでイベントが行われる場所となっております。赤い壁が見えております。その横が入口となっております、ここから入ったところにギャラリースペースがあり、練習場が見学できるようになっております。写真の右下の方に見える駐車場には、球場を利用される身体障害者用として16台を確保しております。下の写真は内部の様子です。球場の天然芝と同じ堅さに調整された人工芝が張られ、内野がすっぽり入る広さがあります。施設を活用して野球教室等の開催も計画されているとのことです。

次に12ページをお開きください。

ゲストハウス型婚礼施設で、名称を「ララシャンス広島迎賓館」と言います。球場プロムナードを挟んで、屋内練習場の南側に建てられています。ゲストハウス型というのは、この建物を貸し切って式を挙げるというスタイルで水と緑の多い潤いのある施設となっております。また、レストラン・カフェも設けられますので、一般の方も利用できるということです。ただ、こちらが利用可能になるのはしばらく先のことです。

それから、右側の13ページのイメージパースは三井不動産レジデンシャルが建設される15階建て112戸の分譲マンションです。目の前が球場プロムナードの入口という立地で、1年半後の来年の夏の完成を目指しています。

説明は以上でございます。

会 長： はい。以上の議題2から議題5を通して、何かご質問、ご意見がございましたらよろしく申し上げます。

委 員： 質問なのですが、駐輪場を設けられるということなのですが、利用料金はどうなるのでしょうか。

事務局： 無料です。

会 長： その他ありますか。

委 員： カープ球団には、ピンクリボンキャンペーンにご協力いただいております、大変

感謝申し上げます。この活動がカープの試合ごとに地域に広がっています。

去年は、広島大学の医師が CC ダンスを白衣で踊られており、思いもかけない新しい、患者と医師の関係が生まれている。それと、カープはとにかくストーリー、物語がありますよね。黒田選手しかりなのですけれども。私は小さな子どもと付き合う仕事をしておりますので、子どもたちが思いもかけないことにスポーツ選手の本を読むのです。特に小学校の高学年あたりから中学校のはじめごろまで、男の子の読み物があまりないのです。その人たちが野村さんや黒田さんの本を読んで人生の指針のようなものを得ています。昨日、私もこの辺を歩きまして、そしたらユキヤナギが真っ白に咲いていまして、もう少し大きくなって馴染んできたらいいだらうなと思っています。なぜ、その辺を歩いたかという、トタンに座った子ども達のモニュメントを拝見するため、見て非常に感動しました。

次に、とにかく球場は巨大な建物ですから、できてから時間も経ってきますので、建物の補修や安全性には気を付けてほしいと思います。

会 長： ありがとうございます。何かご意見がありますでしょうか。

事務局： 建物の維持補修につきましては、先ほど少しご説明いたしました、命名権料をマツダ株式会社様からいただいております、これを財源に長期的に施設の維持補修をしていくということになっております。

また、冒頭で荒本副市長から挨拶の中で触れさせていただきました長期的な施設の改善でありますとか、修繕、そういった計画を新年度策定するようになっております。そういった中で、利用者の方の安全の確保というのはしっかりやっていくということ、それから、より良い施設に改善していくこともしていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

会 長： ありがとうございます。その他ございましたら。

委 員： 現在コンコースのところに障害者のスペースがありますが、利用状況というのは、具体的にはどのような状況ですか。

委 員： 正確には覚えていないが、利用状況は非常に高いと思う。他球場の身障者用の席は数が限られている。マツダスタジアムに関しましては最大 300 名近くまで詰めれば入れるという状況になっています。

去年、広島市に車椅子の方用の大型のエレベーターを作っていただいた。それによって、3階のコンコース、5階のパーティールーム、6階の自由席まで、車椅子の方が楽に上がれるようになった。それまでは貴賓席に通じるエレベーターを併用していた形だったのですが、今はそういう形で車椅子は4台くらい上がる。上がるのも早くなりましたし、降りるのも早くなりました。ルネサンスの方からも入れるような形をとっています。非常に、車椅子の利用状況は高いと思います。

委 員： 昨日は内野の身障者席が全部埋まっていた。付添いの方も入れるようになっていた。

委 員： 初めてだと行きにくいのではないかと考えていたが、そうではないんですね。



委員： それと、介助などの手伝いをするホスピタリティスタッフも常時 20~30 名いる。来られたらそこから一緒にエレベーターで上がって行って、席まで案内するような形をとっている。

会長： その他、何かあれば。

委員： あと一つ気になるのですが、1 ページの駐輪場のところなのですが、無料だと言われたのですが、いくつかすごく気になる場所があります。

まず 1 点目は今まで、自転車を乗り入れて、そこに駐輪できなかったのも、ここで事故が起こらないように観戦日は気をつけないといけない。道路が狭いんですよね。その辺をどうされるのかなというのが一つ。

それからもう一つは、ここに誰かカープさんではなく、市の方になるのかと思うのですが、職員か誰かを配置されるわけですよね。でなければ、自転車放置やいろいろな問題がここで出てくると思うのですが。このあたりは我々にとって便利になりますが、駐輪場は丁寧に管理されたほうがいいのかなと思います。

事務局： 先ほどもご説明しましたように、毎年のように工事等に伴って、駐輪場の位置を変えたりということで、ご迷惑をおかけしております。

駐輪されたい方への案内誘導につきましては、警備員を配置して対応しております。カープ球団様の方でも、試合開催日にはたくさんの警備員を配置しております。市の警備員と両方いるのですが、連携をとってうまい具合に案内するようにしたいと考えております。事故等ないように安全に誘導できるようにしたいと思います。

それと、管理の方ですが、放置自転車のお話ですけれども、基本的には試合開催時のみ利用できるようになっておりまして、それ以外のときにとめられるようにするとまさに放置自転車となってしまいますので、試合開催日以外は閉める予定です。あとは防犯カメラ等を設置しまして、そういったおかしなことが起こらないように管理をしていこうと考えています。

会長： よろしいでしょうか。それでは最後に、松田オーナーに、今シーズンに向けた抱負を一言お願いしたいと思います。

委員： 今年は、黒田が帰って来るということで、みなさんが望まれるのは優勝しかないと思っておりますし、私どもも狙うのは絶対優勝しかないと思っておりますけれども、2月のキャンプ以降、例えば、ヒースという外国人選手がインフルエンザにかかってしまったり、ザガースキーが捻挫とか、ロサリオは虫垂炎にかかってしまうとか、その後けが人や病人が続出したしまして、永田というコーチが入院したり、シーズン前に調子が悪いような状況ですが、開幕の時にはきっちりみんな間に合わせて出てきますから。

エルドレッドは遅れますけれどもね。膝のけがをして、すごく心配をしていたのですが、半月板の治療に二通りの手術を考えたんですが、半月板を削る方を選択した。5月には復帰できるんじゃないかなと思って、結構期待しています。

盾の方はしっかりしているんですが、矛の方がちょっとということで、もしチャンスがあつていい選手がいれば、もう一人ぐらい選手を獲得してもいいか

なと思っています。ここまできたら徹底して、狙えるのなら狙って、きっちりとやっていきたいと思っております。以上です。

会 長： 大変面白いお話をありがとうございました。何か事務局からございますか。

事務局： 特にございません。

会 長： それでは、以上を持ちまして、本日の運営協議会を閉会といたします。皆様ご協力ありがとうございました。

議事録署名者

深山英樹